

科目	生物 (Biology)		
担当教員	津田 久美子		
対象学年等	機械工学科・3年C組・後期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム		JABEE基準1(1)
授業の概要と方針	生物学の基礎を形態学・発生生物学・生化学・分子生物学的視点で講義する。生物体のエネルギー獲得機能について学習する。また、遺伝のしくみと遺伝情報の発現について学習する。なお、随時現代社会における生物科学技術の応用例、生命科学に課せられた問題点について解説する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	エネルギー代謝の概念と異化・同化の過程を理解できる。		エネルギー代謝の概念と異化・同化の過程を理解できているか、実験レポートで評価する。
2	さまざまな遺伝のしかたと遺伝子と染色体との関わりについて理解できる。		さまざまな遺伝のしかたと遺伝子と染色体との関わりについて理解できているか、中間試験で評価する。
3	遺伝情報にもとづくタンパク質の合成方法を理解できる。		遺伝情報にもとづくタンパク質の合成方法を理解できているか、定期試験および実験レポートで評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験60%、レポート30%、小テスト10%として評価する。2回の試験成績の平均点を60%、授業中に随時実施する小テストを10%、実験レポートを30%で総合評価する。100点満点で55点以上を合格とする。		
テキスト	資料プリントを随時配布する。		
参考書	授業で随時紹介する。		
関連科目	特になし。		
履修上の注意事項	特になし。		

